

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-92760(P2020-92760A)

【公開日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2020-024

【出願番号】特願2018-231330(P2018-231330)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、

前記登録設定値に応じて遊技の進行を制御する遊技制御部と、

前記記憶部に前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行可能な演出実行部と、
を備え、

前記示唆演出では、複数種類の演出要素のいずれかが実行され、

前記示唆演出において所定の実行順とは異なる演出要素が実行された場合、前記登録設定値として前記所定の設定値が記憶されていることが示唆される遊技機。

【請求項2】

所定条件にしたがって内部モードを設定する内部モード設定部を備え、

前記演出実行部は、

前記内部モードに基づいて、前記示唆演出を実行可能とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記示唆演出では、

前記登録設定値が特定値の場合に、前記特定値未満の場合よりも、同一の前記演出要素が連続して実行される可能性が高い請求項1または2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、登録設定値が記憶される記憶部が設けられた遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、設定値が登録設定値として記憶される記憶部と、前記登録設定値に応じて遊技の進行を制御する遊技制御部と、前記記憶部に前記登録設定値として所定の設定値が記憶されていることを示唆する示唆演出を実行可能な演出実行部と、を備え、前記示唆演出では、複数種類の演出要素のいずれかが実行され、前記示唆演出において所定の実行順とは異なる演出要素が実行された場合、前記登録設定値として前記所定の設定値が記憶されていることが示唆される。